

平成26年2月14日

各 位

会 社 名 山下医科器械株式会社

代表者名 代表取締役社長 山下 尚登

(コード番号：3022 東証第一部)

問合せ先 取締役執行役員管理本部長 伊藤 秀憲

(TEL. 092-726-8200)

(訂正)「平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年12月25日付適時開示「当社従業員による不正行為に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成23年9月29日付「平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__
を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年9月29日

上場会社名 山下医科器械株式会社
コード番号 3022 URL <http://www.yamashitaika.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 秀憲

TEL 092-726-8200

四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績（平成23年6月1日～平成23年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	9,733	9.0	△22	—	△7	—	△16	—
23年5月期第1四半期	8,927	0.9	△155	—	△138	—	△99	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 △36百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 △111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	△6.44	—
23年5月期第1四半期	△39.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	13,703	4,715	34.4
23年5月期	15,369	4,777	31.1

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 4,713百万円 23年5月期 4,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想（平成23年6月1日～平成24年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,499	5.1	△44	—	△14	—	△9	—	△3.64
通期	42,075	5.0	178	54.5	239	33.4	103	—	40.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名） 、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年5月期1Q	2,553,000株	23年5月期	2,553,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

24年5月期1Q	890株	23年5月期	890株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年5月期1Q	2,552,110株	23年5月期1Q	2,552,125株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災により落ち込んだ生産活動に回復の動きが見られた一方、電力供給の制約や原発事故の影響拡大に加え、急激な円高の進行等による金融市場の混乱、更にはデフレの継続等により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、平成22年4月の診療報酬改定で急性期医療機関の一部に経営改善の効果が見られたものの、地域医療機関は慢性的な医師不足の問題等を抱え、厳しい経営環境が続いております。当社グループが属する医療機器販売業界におきましても、医療材料の償還価格引き下げに加え、顧客である医療機関の経営改善に向けたコスト削減要請の高まり等により、業者間の販売競争が一層激しくなっております。

このような状況の下、当社グループでは、本年度を初年度とする3ヶ年の新中期経営計画を策定し、基盤事業の安定的成長と生産性の向上を目指して、主要施策の取組みをスタートさせました。特に本年度は、九州全域をカバーする営業拠点と物流ネットワークの活用によるSPD(院内物品管理)事業の拡大等基盤事業の強化や、専門部署の設置による商品戦略の強化、更には子会社の整形事業の展開加速によるグループ戦略の強化等に重点的に取り組んでおります。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は97億33百万円(前年同四半期比9.0%増)となり、利益面につきましては、売上増加に伴う売上総利益の増加、支払手数料等の経費削減により営業損失は22百万円(前年同四半期は1億55百万円の営業損失)、経常損失は7百万円(前年同四半期は1億38百万円の経常損失)、四半期純損失は16百万円(前年同四半期は99百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち、一般機器分野では、超音波診断装置等の医療機器備品および理化学機器等の売上増加により15億58百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設の増加による医療機器消耗品や整形消耗品等の売上増加により51億57百万円(前年同四半期比10.0%増)となりました。低侵襲治療分野では、内視鏡備品や内視鏡処置用医療材料(IVE)および心臓循環器消耗品等の売上増加により21億39百万円(前年同四半期比9.0%増)となりました。メディカルサービス分野では、CT(コンピューター断層撮影装置)やMRI(磁気共鳴画像装置)等の放射線機器等の売上増加により5億86百万円(前年同四半期比5.8%増)となりました。医療情報分野では、画像診断装置システムや医療情報備品等の売上減少により2億32百万円(前年同四半期比9.8%減)となりました。この結果、医療機器販売業の売上高は96億74百万円(前年同四半期比9.0%増)、セグメント利益は1億27百万円(前年同四半期比1,027.0%増)となりました。

② 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は8百万円(前年同四半期比29.5%減)、セグメント損失は12百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は137億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億65百万円減少いたしました。流動資産は、主に売掛金の減少、金銭信託償還による有価証券の減少等により102億89百万円となりました。

(負債の部)

負債は、支払手形及び買掛金の減少により、前連結会計年度末に比べて16億3百万円減少し、89億88百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べて61百万円減少し、47億15百万円となり、自己資本比率は34.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成23年7月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（不正取引及び不適切な会計処理について）

当社において、不正行為の疑いが生じたことから、社内調査チームを設置して調査を実施するとともに社外の専門家を含めた調査委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不正行為及び不適切な会計処理が行われておりました。

（訂正報告書の提出について）

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出いたしました。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,707,061	1,431,519
受取手形及び売掛金	7,646,241	6,787,978
有価証券	500,000	—
商品	1,669,958	1,664,427
その他	369,240	414,508
貸倒引当金	△10,205	△9,329
流動資産合計	11,882,296	10,289,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,173,277	2,174,947
減価償却累計額	△1,003,473	△1,024,654
建物及び構築物 (純額)	1,169,803	1,150,292
土地	1,474,493	1,474,493
その他	545,918	536,186
減価償却累計額	△435,619	△440,962
その他 (純額)	110,298	95,223
有形固定資産合計	2,754,596	2,720,010
無形固定資産	123,789	116,327
投資その他の資産		
投資有価証券	252,477	217,751
その他	356,396	360,771
投資その他の資産合計	608,874	578,522
固定資産合計	3,487,259	3,414,860
資産合計	15,369,556	13,703,965
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,470,616	8,051,536
未払法人税等	13,877	2,323
賞与引当金	271,967	86,432
その他	558,440	551,022
流動負債合計	10,314,901	8,691,314
固定負債		
退職給付引当金	93,905	107,361
資産除去債務	52,770	52,990
その他	130,443	136,443
固定負債合計	277,119	296,795
負債合計	10,592,021	8,988,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	<u>3,535,098</u>	<u>3,493,147</u>
自己株式	△971	△971
株主資本合計	<u>4,655,757</u>	<u>4,613,806</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,089	99,912
その他の包括利益累計額合計	<u>120,089</u>	<u>99,912</u>
少数株主持分	1,688	2,137
純資産合計	<u>4,777,535</u>	<u>4,715,855</u>
負債純資産合計	<u>15,369,556</u>	<u>13,703,965</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	8,927,455	9,733,191
売上原価	7,910,057	8,592,122
売上総利益	1,017,397	1,141,068
販売費及び一般管理費	1,173,395	1,163,631
営業損失(△)	△155,998	△22,563
営業外収益		
受取利息	747	429
受取配当金	1,234	1,286
仕入割引	11,244	11,527
受取手数料	3,598	2,257
その他	4,689	5,469
営業外収益合計	21,514	20,969
営業外費用		
支払利息	456	627
不正関連損失	3,359	4,706
その他	398	909
営業外費用合計	4,214	6,244
経常損失(△)	△138,697	△7,837
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,375
貸倒引当金戻入額	443	—
特別利益合計	443	3,375
特別損失		
固定資産除却損	52	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,345	—
特別損失合計	8,398	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△146,652	△4,461
法人税、住民税及び事業税	5,046	10,089
法人税等調整額	△51,939	1,428
法人税等合計	△46,892	11,518
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△99,759	△15,980
少数株主利益	185	449
四半期純損失(△)	△99,945	△16,429

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△99,759</u>	<u>△15,980</u>
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	<u>△11,396</u>	<u>△20,177</u>
その他の包括利益合計	<u>△11,396</u>	<u>△20,177</u>
四半期包括利益	<u>△111,156</u>	<u>△36,158</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△111,341</u>	<u>△36,607</u>
少数株主に係る四半期包括利益	185	449

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社においては主に事業所別に、連結子会社においては個別に報告を受け、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

これらの事業セグメントを製品・サービスの類似性から、集約基準及び量的基準に基づいて集約したうえで、「医療機器販売業」及び「医療モール事業」の2つを報告セグメントとしております。

「医療機器販売業」は、主に医療機器メーカーより仕入れた医療機器を、病院をはじめとする医療機関等に販売しております。「医療モール事業」は、複数のクリニックが同一敷地内に立地し、各診療科の専門医が医療サービスを提供する複合型医療施設の運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	<u>8,856,905</u>	11,468	<u>8,868,373</u>	59,081	—	<u>8,927,455</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,893	—	22,893	83,423	△106,316	—
計	<u>8,879,799</u>	11,468	<u>8,891,267</u>	142,504	△106,316	<u>8,927,455</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>11,297</u>	△20,715	<u>△9,418</u>	5,908	△152,488	<u>△155,998</u>

(注) 1 「その他」の区分は、自社開発製品である整形外科用インプラントやプライベートブランド製品を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△152,488千円には、各報告セグメントに配分しない全社費用△148,836千円、棚卸資産の調整額△3,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,647,894	8,082	9,655,977	77,213	—	9,733,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,845	—	26,845	48,853	△75,698	—
計	9,674,739	8,082	9,682,822	126,067	△75,698	9,733,191
セグメント利益又は 損失(△)	127,328	△12,939	114,388	11,985	△148,937	△22,563

(注) 1 「その他」の区分は、自社開発製品である整形外科用インプラントやプライベートブランド製品を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,937千円には、各報告セグメントに配分しない全社費用△152,195千円、棚卸資産の調整額3,258千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

仕入実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同 四半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器販売業	機器	2,207,936	2,394,383	108.4
	消耗品	5,494,276	6,009,466	109.4
	医療情報	199,713	175,028	87.6
	小計	7,901,926	8,578,879	108.6
その他		103,573	92,200	89.0
セグメント間内部取引額		△106,316	△75,698	71.2
合計		7,899,183	8,595,380	108.8

(注) 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同 四半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器販売業	一般機器分野	1,412,883	1,558,110	110.3
	一般消耗品分野	4,690,751	5,157,482	110.0
	低侵襲治療分野	1,963,354	2,139,440	109.0
	メディカルサービス分野	554,636	586,815	105.8
	医療情報分野	258,173	232,891	90.2
	小計	8,879,799	9,674,739	109.0
医療モール事業		11,468	8,082	70.5
その他		142,504	126,067	88.5
セグメント間内部取引額		△106,316	△75,698	71.2
合計		8,927,455	9,733,191	109.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(訂正前)



平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年9月29日

上場会社名 山下医科器械株式会社
コード番号 3022 URL <http://www.yamashitaika.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 秀憲
四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 092-726-8200

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績（平成23年6月1日～平成23年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	9,745	9.0	△12	—	6	—	△1	—
23年5月期第1四半期	8,936	0.9	△148	—	△127	—	△89	—

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 △21百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	△0.75	—
23年5月期第1四半期	△34.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第1四半期	13,710	4,909	35.8
23年5月期	15,379	4,956	32.2

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 4,907百万円 23年5月期 4,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想（平成23年6月1日～平成24年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,499	5.0	△44	—	△14	—	△9	—	△3.64
通期	42,075	4.9	178	12.0	239	△1.6	103	—	40.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名） 、 除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期1Q	2,553,000株	23年5月期	2,553,000株
② 期末自己株式数	24年5月期1Q	890株	23年5月期	890株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期1Q	2,552,110株	23年5月期1Q	2,552,125株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災により落ち込んだ生産活動に回復の動きが見られた一方、電力供給の制約や原発事故の影響拡大に加え、急激な円高の進行等による金融市場の混乱、更にはデフレの継続等により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、平成22年4月の診療報酬改定で急性期医療機関の一部に経営改善の効果が見られたものの、地域医療機関は慢性的な医師不足の問題等を抱え、厳しい経営環境が続いております。当社グループが属する医療機器販売業界におきましても、医療材料の償還価格引き下げに加え、顧客である医療機関の経営改善に向けたコスト削減要請の高まり等により、業者間の販売競争が一層激しくなっております。

このような状況の下、当社グループでは、本年度を初年度とする3ヶ年の新中期経営計画を策定し、基盤事業の安定的成長と生産性の向上を目指して、主要施策の取組みをスタートさせました。特に本年度は、九州全域をカバーする営業拠点と物流ネットワークの活用によるSPD(院内物品管理)事業の拡大等基盤事業の強化や、専門部署の設置による商品戦略の強化、更には子会社の整形事業の展開加速によるグループ戦略の強化等に重点的に取り組んでおります。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は97億45百万円(前年同四半期比9.0%増)となり、利益面につきましては、売上増加に伴う売上総利益の増加、支払手数料等の経費削減により営業損失は12百万円(前年同四半期は1億48百万円の営業損失)、経常利益は6百万円(前年同四半期は1億27百万円の経常損失)、四半期純損失は1百万円(前年同四半期は89百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち、一般機器分野では、超音波診断装置等の医療機器備品および理化学機器等の売上増加により15億65百万円(前年同四半期比10.4%増)となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設の増加による医療機器消耗品や整形消耗品等の売上増加により51億60百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。低侵襲治療分野では、内視鏡備品や内視鏡処置用医療材料(IVE)および心臓循環器消耗品等の売上増加により21億41百万円(前年同四半期比9.0%増)となりました。メディカルサービス分野では、CT(コンピューター断層撮影装置)やMRI(磁気共鳴画像装置)等の放射線機器等の売上増加により5億86百万円(前年同四半期比5.8%増)となりました。医療情報分野では、画像診断装置システムや医療情報備品等の売上減少により2億32百万円(前年同四半期比9.8%減)となりました。この結果、医療機器販売業の売上高は96億86百万円(前年同四半期比9.0%増)、セグメント利益は1億37百万円(前年同四半期比631.4%増)となりました。

② 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は8百万円(前年同四半期比29.5%減)、セグメント損失は12百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は137億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億68百万円減少いたしました。流動資産は、主に売掛金の減少、金銭信託償還による有価証券の減少等により102億95百万円となりました。

(負債の部)

負債は、支払手形及び買掛金の減少により、前連結会計年度末に比べて16億21百万円減少し、88億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べて47百万円減少し、49億9百万円となり、自己資本比率は35.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成23年7月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,707,061	1,431,519
受取手形及び売掛金	7,659,867	6,798,535
有価証券	500,000	—
商品	1,669,958	1,664,427
その他	365,163	410,431
貸倒引当金	△10,219	△9,340
流動資産合計	11,891,832	10,295,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,173,277	2,174,947
減価償却累計額	△1,003,473	△1,024,654
建物及び構築物 (純額)	1,169,803	1,150,292
土地	1,474,493	1,474,493
その他	545,918	536,186
減価償却累計額	△435,619	△440,962
その他 (純額)	110,298	95,223
有形固定資産合計	2,754,596	2,720,010
無形固定資産	123,789	116,327
投資その他の資産		
投資有価証券	252,477	217,751
その他	356,396	360,771
投資その他の資産合計	608,874	578,522
固定資産合計	3,487,259	3,414,860
資産合計	15,379,091	13,710,435
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,470,616	8,051,536
未払法人税等	13,877	2,323
賞与引当金	271,967	86,432
その他	388,890	363,904
流動負債合計	10,145,352	8,504,196
固定負債		
退職給付引当金	93,905	107,361
資産除去債務	52,770	52,990
その他	130,443	136,443
固定負債合計	277,119	296,795
負債合計	10,422,472	8,800,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,605	627,605
利益剰余金	<u>3,714,182</u>	<u>3,686,735</u>
自己株式	△971	△971
株主資本合計	<u>4,834,841</u>	<u>4,807,394</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,089	99,912
その他の包括利益累計額合計	<u>120,089</u>	<u>99,912</u>
少数株主持分	1,688	2,137
純資産合計	<u>4,956,619</u>	<u>4,909,443</u>
負債純資産合計	<u>15,379,091</u>	<u>13,710,435</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	8,936,573	9,745,128
売上原価	7,911,724	8,594,264
売上総利益	1,024,849	1,150,863
販売費及び一般管理費	1,173,395	1,163,628
営業損失(△)	△148,546	△12,765
営業外収益		
受取利息	747	429
受取配当金	1,234	1,286
仕入割引	11,244	11,527
受取手数料	3,598	2,257
その他	4,689	5,469
営業外収益合計	21,514	20,969
営業外費用		
支払利息	456	627
その他	398	909
営業外費用合計	854	1,537
経常利益又は経常損失(△)	△127,886	6,666
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,375
貸倒引当金戻入額	455	—
特別利益合計	455	3,375
特別損失		
固定資産除却損	52	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,345	—
特別損失合計	8,398	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△135,830	10,042
法人税、住民税及び事業税	5,046	10,089
法人税等調整額	△51,934	1,429
法人税等合計	△46,888	11,519
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△88,941	△1,477
少数株主利益	185	449
四半期純損失(△)	△89,127	△1,926

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△88,941</u>	<u>△1,477</u>
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	<u>△11,396</u>	<u>△20,177</u>
その他の包括利益合計	<u>△11,396</u>	<u>△20,177</u>
四半期包括利益	<u>△100,337</u>	<u>△21,654</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△100,523</u>	<u>△22,104</u>
少数株主に係る四半期包括利益	185	449

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社においては主に事業所別に、連結子会社においては個別に報告を受け、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

これらの事業セグメントを製品・サービスの類似性から、集約基準及び量的基準に基づいて集約したうえで、「医療機器販売業」及び「医療モール事業」の2つを報告セグメントとしております。

「医療機器販売業」は、主に医療機器メーカーより仕入れた医療機器を、病院をはじめとする医療機関等に販売しております。「医療モール事業」は、複数のクリニックが同一敷地内に立地し、各診療科の専門医が医療サービスを提供する複合型医療施設の運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	<u>8,866,024</u>	11,468	<u>8,877,492</u>	59,081	—	<u>8,936,573</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,893	—	22,893	83,423	△106,316	—
計	<u>8,888,917</u>	11,468	<u>8,900,385</u>	142,504	△106,316	<u>8,936,573</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>18,749</u>	△20,715	<u>△1,966</u>	5,908	△152,488	<u>△148,546</u>

(注) 1 「その他」の区分は、自社開発製品である整形外科用インプラントやプライベートブランド製品を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△152,488千円には、各報告セグメントに配分しない全社費用△148,836千円、棚卸資産の調整額△3,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療機器 販売業	医療モール 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	<u>9,659,831</u>	8,082	<u>9,667,914</u>	77,213	—	<u>9,745,128</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,845	—	26,845	48,853	△75,698	—
計	<u>9,686,676</u>	8,082	<u>9,694,759</u>	126,067	△75,698	<u>9,745,128</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>137,126</u>	△12,939	<u>124,186</u>	11,985	△148,937	<u>△12,765</u>

(注) 1 「その他」の区分は、自社開発製品である整形外科用インプラントやプライベートブランド製品を製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,937千円には、各報告セグメントに配分しない全社費用△152,195千円、棚卸資産の調整額3,258千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

仕入及び販売の状況

(1) 仕入実績

仕入実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同 四半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器販売業	機器	2,208,818	2,396,159	108.5
	消耗品	5,495,060	6,009,820	109.4
	医療情報	199,713	175,041	87.6
	小計	7,903,593	8,581,021	108.6
その他		103,573	92,200	89.0
セグメント間内部取引額		△106,316	△75,698	—
合計		7,900,850	8,597,523	108.8

(注) 上記金額は実際仕入額であり、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	前年同 四半期比 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
医療機器販売業	一般機器分野	1,417,935	1,565,056	110.4
	一般消耗品分野	4,693,999	5,160,591	109.9
	低侵襲治療分野	1,964,173	2,141,298	109.0
	メディカルサービス分野	554,636	586,815	105.8
	医療情報分野	258,173	232,914	90.2
	小計	8,888,917	9,686,676	109.0
医療モール事業		11,468	8,082	70.5
その他		142,504	126,067	88.5
セグメント間内部取引額		△106,316	△75,698	—
合計		8,936,573	9,745,128	109.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。